

事務事業名	雲南消防本部運営事業		所属部	総務部	所属課	危機管理室
政策名	総合計画体系	(II)環境に配慮した安全・快適な生活環境づくり《定住環境》	所属G	危機管理G	課長名	齊藤 雅孝
施策名		(13)消防・防災対策の推進	担当者名	坂田 裕二	電話番号(内線)	0854-40-1027 3544
基本事業名		(038)消防体制の確保	予算科目	会計 款 項 目 中事業	01 4 5 0 5 0 5 0 1	雲南広域連合負担金(消防)

1 現状把握の部

(1)事業概要

①事業期間	②事業の内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)	③開始したきっかけ(いつ頃どんな経緯で開始されたのか?)
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(16年度~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(年度~年度)	消防・救急業務等について、雲南広域連合で運営している。負担金については、地方交付税算定の需要額を基礎として負担割合を決めている。	昭和45年、雲南10か町村により消防・救急業務等を共同して処理するため、設立された。

(2)トータルコスト

		単位	21年度(決算)	22年度(決算)	23年度(決算)	24年度(計画)	25年度(計画)	全体計画
①事業費の内訳(概要)	事業費	国庫支出金	千円	37,468				
		県支出金	千円					
		地方債	千円		19,500	122,300	122,300	
		その他	千円					
		一般財源	千円	711,638	612,233	632,598	641,974	641,974
②延べ業務時間の内訳(業務の流れ等)		事業費計(A)	千円	711,638	649,701	652,098	764,274	764,274
負担金の支払い及び連絡会議等への出席	人件費	正規職員従事人数	人	2	2	3	3	
		延べ業務時間	時間	236	249	347		
		人件費計(B)	千円	900	968	1,368	0	0
		トータルコスト(A)+(B)	千円	712,538	650,669	653,466	764,274	764,274

(3)事務事業の手段・目的・上位目的及び対応する指標

手段	① 主な活動	指標名	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(目標)	25年度(目標)	最終(目標)
	23年度実績(23年度に行った主な活動)	⑤ 活動指標							
	負担金の支払い業務及び連絡会議等への出席	ア 負担金支払額	千円	711638	649701	652098	764274	764274	
		イ 連絡会議	回	5	5	5	5	5	
	24年度計画(24年度に計画している主な活動)	ウ							
	負担金の支払い業務及び連絡会議等への出席	エ							
		オ							

目的	② 対象(誰、何を対象にしているのか)	指標名	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(目標)	25年度(目標)	最終(目標)
	市民	⑥ 対象指標							
		ア 市民	人	42402	41917	41159	41159	41032	40650
		イ							
	③ 意図(対象がどのような状態になるのか)	⑦ 成果指標							
	市民の生命・財産を守る。	ア 火災発生件数(雲南市内)	件	18	10	19	8	8	8
		イ 救急搬送件数(雲南市内)	件	1099	1150	1362	1300	1300	1300
		ウ							
	④ 結果(どんな上位目的に結び付けるのか)	⑧ 上位成果指標							
	生命・財産を火災・災害から守る。	ア 年間火災発生件数(暦年)	件	18	10	19	8	8	8
		イ 災害による年間人的被害者数(暦年)	人	0	0	0	0	0	0

(4)事務事業の環境変化、住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどうか変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	② この事務事業に関するこれまでの改革改善の取り組み経緯	③ この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
高齢化の進行により、救急件数は年々増加している。平成24年度から26年度にかけ、消防救急無線のデジタル化整備事業を実施していく予定である。	特になし。	特になし。

事務事業名	雲南消防本部運営事業	所属部	総務部	所属課	危機管理室
-------	------------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】 ↷ 常備消防・救急業務を担っており、施策のなかで最も直接的な結びつきがある。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】 ↷ 関係法令により、市が直接関与するべきものである。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】 ↷ 対象、意図とも適切である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 ↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 ↷ 高速救急対応や救急救命士養成など、新しい業務へも対応しており、また、人員についても県内の他の消防本部に比較し少ない人数で対応してきている。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】 ↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】 ↷ 現状の常備消防組織を廃止し、構成団体がそれぞれに常備消防を持つことは、コスト的に非常に割高になるし、現実的に廃止は不可能である。
効率性 評価	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 ↷ 消防の広域化を国・県が推進しているが、島根県及び雲南地域の現状から現実的でないと思われる。
	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷ 1市2町による負担金の支払い事務のみであるので事業費の削減はできない。
公平性 評価	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方の工夫で延べ業務時間を削減可能か? 成果を下げずに正職員以外や委託でできないか?	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷ 市としては削減余地はない。
	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 ↷ 負担金については、構成市町の人口割等で算出されており、公平である。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																					
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	消防の広域化については、早急に進む状況にはない。																					
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) 常備消防及び救急業務を担う体制は、維持する必要がある。	(4) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table> (廃止・休止の場合は記入不要)			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		●	×																		
	低下		×	×																		
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 無線のデジタル化を平成28年(2016年)5月31日までに行う必要があり、現在、県域1ブロックによる共同実施の方向で検討・協議が行われている。整備については、なるべく費用を抑え、効率的に進める必要がある。																						